

調査結果Aの記載内容について

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査票Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。  
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業  
 (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、  
 中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業  
 (3) 平成30年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業  
 ※それ以外の事業は「令和元年度 観光分野事業調査結果B」に掲載されています。

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
  - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
  - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
  - ・事業名
- 「目的」
  - ・事業で達成すべき目的
- 「内容」
  - ・事業の内容
- 「事業費」
  - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
  - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
  - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
  - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」※アンケート未実施の場合、「一」が記載されています。
  - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「実績(内容)」
  - ・30年度事業の実施状況
- 「成果」
  - ・事業の目的に対して、事業で得られた成果
- 「課題と改善点」
  - ・事業の目的に対して、不十分だった点や改善すべき点
- 「今後の方向性」
  - ・今後の事業の方向性
- 「担当課」・「担当係」
  - ・事業を担当する課・係

観光		(所管課)
<b>【分野別目標1】 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出</b>		
1	観光写真コンクール	アカデミー推進課
2	肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	みどり公園課/アカデミー推進課
3	展望ラウンジ観光拠点化事業	アカデミー推進課
4	まち並みウォッチング	住環境課
5	文の京都市景観賞	住環境課
6	大河ドラマ「いだてん」主人公金栗四三青春の地・文京区スタンプラリー	アカデミー推進課
7	大河ドラマ「いだてん」主人公金栗四三青春の地・文京区企画展	アカデミー推進課
8	観光リーフレット作成	アカデミー推進課
9	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	区民課
10	自転車シェアリング事業	管理課
11	無料公衆無線LANの整備	情報政策課
12	観光インフォメーション	アカデミー推進課
13	観光PRポスター作成	アカデミー推進課
14	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	アカデミー推進課
15	インバウンド歓迎戦略2018～外国人まるごとおもてなしプラン～	アカデミー推進課
<b>【分野別目標2】 情報の収集・活用による来訪の促進</b>		
1	観光ボランティアガイド事業	アカデミー推進課
2	歴史的建造物の活用	アカデミー推進課
3	文の京ゆかりの文人支援事業	アカデミー推進課
4	文の京ゆかりの文人銘菓	アカデミー推進課
5	フィルムコミッション事業	アカデミー推進課
6	花の五大まつり等助成	アカデミー推進課
7	国内交流事業	アカデミー推進課
<b>【分野別目標3】 持続可能なまちづくりを支える仕組みづくり</b>		
1	観光協会振興助成	アカデミー推進課
2	広域連携事業	アカデミー推進課
3	バリアフリーの推進	都市計画課
4	区内統一案内標識整備	道路課
5	外国人おもてなし隊育成事業	アカデミー推進課

【分野別目標1】観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係			
【基本的な方向性(1)】文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘																	
1	54		観光写真コンクール	区内の観光スポットや花の五大まつりで賑わう様子、今も残る昔の情景などの作品を募集し活用することにより、区の魅力を発信する。	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	第57回観光写真コンクールの開催 ・応募者145人、応募点数461点 ・入賞作品40点 ・観光写真展 会期 11月9日～11日 入場者数 537人(3日間)	コンクール応募者及び写真展来場者に区の新しい観光資源を発見してもらうとともに、入賞した作品を区の観光PRポスターに活用するなど、区の魅力の発信手法の幅を広げることができた。	区内の方だけでなく、より多くの方に興味を持っていただけるような事業内容の見直しが必要である。	現状維持	Instagram部門やチエキ部門などを創設し、若年層の応募を増やす取り組みを検討する。	アカデミー推進課	観光担当	
						決算	—	実績数	461点								—
								申込数	461点								—
2	54		肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	観光拠点施設として、近隣の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致を図り、地域の活性化に寄与する。	歴史性のある肥後細川庭園及び松茸閣の魅力や情報を発信するとともに、地域周遊事業を企画する。	予算	300	当初予定数(定員等)	—	指定管理者自主事業 「目白台“涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(新規) (内容) 周遊マップ10,000部を作成 協力3施設において喫茶代金等割引サービスの実施 熱中症予防啓発のため和傘(日よけ)の貸し出し ミストシャワーの設置 (実施期間) 平成30年7月21日(土)から8月31日(金)まで (場所) 肥後細川庭園 松茸閣 (協力) 永青文庫、ホテル椿山荘東京、日本女子大学、日本気象協会 (割引サービス利用状況) 肥後細川庭園461枚、永青文庫90枚、ホテル椿山荘東京16枚	豊かな緑と水を湛える目白台の魅力を知っていただくため、周辺施設と連携し、周遊機会を創出することができた。また、日本気象協会「熱中症ゼロプロジェクト」と連携を図り、熱中症予防の普及啓発活動に努めた。	イベントの認知度を向上させるため、周知方法等の検討が必要である。	現状維持	みどり公園課/アカデミー推進課	管理係/観光担当		
						決算	302	実績数	—							—	
								申込数	—							—	
3			展望ラウンジ観光拠点化事業	展望ラウンジの観光地としての更なる認知度向上につなげるとともに、区の観光等の魅力を発信する機会とすることで、観光客の区内における周遊性を高める。	文京シビックセンター25階展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的としたイベント等を実施する。	予算	2,428	当初予定数(定員等)	—	ビール・ワイン・日本酒・おつまみ等の提供のほか、観光土産物等を販売するイベントを実施した。また、経済課主催による「文京博覧会(ぶんぱく)2018」と同日開催となったことから、国内交流都市のワインや日本酒等を販売した。 (1)実施期間:8月24日(金)・25日(土)及び11月16日(金)・17日(土) (2)来場者:計4,090人	展望ラウンジの魅力を多方面にPRすることができた。	イベントの認知度が低いため、周知方法を検討する必要がある。	拡充	観光協会と連携して実施していくことにより、展望ラウンジの活用と観光拠点としての観光振興を促進していく。	アカデミー推進課	観光担当	
						決算	1,804	実績数	4,090人								—
								申込数	—								—
4	54		まち並みウォッチング	都市景観に対する区民の、意識向上を図る。	まち歩きにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つける。	予算	33	当初予定数(定員等)	30人	【平成11年度～】毎年実施 H30.4.24に実施。参加者27名	講師の景観的視点に立った説明を受けながらまち歩きをすることで、都市景観に対する区民の意識が高まっている。	より幅広い年齢層の区民等が参加でき、景観への関心を高めてもらえるよう、事業内容及び開催時期などについて検討する必要がある。	現状維持	住環境課	景観担当		
						決算	30	実績数	27人							90.0%	
								申込数	40人							133.3%	
5	54		文の京都市景観賞	都市景観に対する区民及び事業者の意識向上を図る。	優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、表彰する。	予算	826	当初予定数(定員等)	—	【平成13年度～】平成30年度で18回実施。①景観創造賞 ②ふるさと景観賞 ③景観づくり活動賞 ④景観広告賞の4部門を設けて候補物件を募集。景観づくり審議会にて選考し、表彰を行う。平成30年度受賞物件は、①景観創造賞:文京区教育センター ②ふるさと景観賞:弓町の大クス③景観づくり活動賞:文京区坂道マップ ④景観広告賞:該当無応募物件数は149件。	区内の景観を形成している建築物等やまち並み、優れた景観づくりに貢献した地域活動等を表彰することにより、区民及び事業者の景観形成に対する意識の向上が図られている。	より幅広い年齢層から応募してもらえるよう、事業内容及び周知方法などを検討する必要がある	現状維持	住環境課	景観担当		
						決算	657	実績数	149件							—	
								申込数	149件							—	
6			大河ドラマ「いだてん」主人公金栗四三青春の地・文京区スタンプラリー	大河ドラマ「いだてん」放送の機会を活用して、本区の特長魅力を全国に発信し、観光振興を進めるとともに、ドラマで取り上げられるエピソードや区の知られざる歴史等を周知し、オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図る。	観光アプリを活用して、金栗らに関連するスポットを巡るスタンプラリーを実施した。	予算	3,516	当初予定数(定員等)	—	スタンプポイント7カ所:湯島聖堂、湯島天満宮、文京ふるさと歴史館、講道館、傳通院、播磨坂、筑波大学(占春園) 実施期間:平成31年1月23日(水)から5月17日(金)まで アプリでの参加者:1,035人(うちクリア人数:802人) ※クリア率≒77% 景品交換人数:945人 ※アプリ参加者+写真等の参加者	大河ドラマ「いだてん」ゆかりの地を広く周知することができた。	より多くの方に企画を知っていただくため、広報を工夫する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当		
						決算	3,516	実績数	1,035人							—	
								申込数	—							—	
7			大河ドラマ「いだてん」主人公金栗四三青春の地・文京区企画展	大河ドラマ「いだてん」放送の機会を活用して、本区の特長魅力を全国に発信し、観光振興を進めるとともに、ドラマで取り上げられるエピソードや区の知られざる歴史等を周知し、オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図る。	区内関係団体や区民等から情報を収集し、ドラマの登場人物、1964年の東京オリンピック等にまつわる品々及びエピソード等を展示したほか、その内容を区ホームページ、SNS等で発信した。 ギャラリーシビック(平成31年3月23日から28日)、文京ふるさと歴史館(平成31年4月13日から5月12日)。	予算	10,859	当初予定数(定員等)	—	開催場所:ギャラリーシビック 開催期間:平成31年3月23日(土)から3月28日(木)までの6日間 来場者数:2,771人(うちVR体験者数:1,181人) 参加者満足度:88%(回収1,876人/満足1,763人)	金栗、嘉納ら登場人物ゆかりの場所等を掲載したマップを作成し、区SNS等と併せて情報発信を行った。また、区内関係団体や区民等から情報を収集し、ゆかりの品やエピソードとして紹介した。	より多くの方に企画を知っていただくため、広報を工夫する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当		
						決算	9,946	実績数	2,771人							—	
								申込数	—							—	

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係			
<b>【基本的な方向性(2)】 区内の回遊性を向上させる環境づくり</b>																	
8	56	観01-02	観光リーフレット作成	区内の観光施設及び名所・旧跡等を紹介する多言語でのリーフレットを作成することにより、観光客を誘致し、回遊性を高める。	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致し、回遊性を高める。	予算	9,340	当初予定数(定員等)	—	—	<作成部数> ・観光ガイドマップ 日本語版77,000部、英語版15,000部、中国語版(簡体字)5,000部、中国語版(繁体字)5,000部、ハングル版3,000部を作成 ・おしいゅうございまつぶ 日本語版30,000部、英語版3,000部、中国語版(簡体字)2,000部を作成	シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うとともに、まつり等のイベントで来場者に配布し、区内外へ本区の情報を広く発信することができた。	外国人観光客の増加に対応するため、効果的な配布先を精査するとともに、web掲載版の充実を図る。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当	
						決算	9,339	実績数	77,000部								
								申込数	—								
9	56	コミュニティバス「B-ぐる」運行事業	公共交通不便地域の解消を図る	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出す。	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出す。	予算	30,657	当初予定数(定員等)	—	—	30年度利用客数 千駄木・駒込ルート:484,034人(前年度比:-2.4%) 目白台・小日向ルート:449,469人(前年度比:0.8%)	区内の公共交通不便地域の解消のため、千駄木・駒込ルート及び目白台・小日向ルートの2系統を運行した。また、29年度に実施した「文京区コミュニティバスB-ぐる」の課題等分析委託報告書で示された課題に対する詳細分析を行い、既存路線の利便性向上及び新規路線の導入について検討を行った。	目白台・小日向ルートの利用者数は増加傾向にあるが、千駄木・駒込ルートは28年度以降、2年連続の減少となっている。周知箇所の更なる拡大など、各種PR活動を強化するとともに路線の最適化も含めたサービス及び利便性向上策を検討し、新規利用者の獲得に努める必要がある。	拡充	新路線導入に向けた準備に着手するとともに、PR活動の更なる強化や既存路線のサービス向上に取り組むことで、利用者数の向上を目指す。	区民課	庶務係
						決算	30,252	実績数	933,503人								
								申込数	—								
10	観04-02	自転車シェアリング事業	公共的な交通手段として定着させ、地域・観光の活性化を図る	自転車シェアリング事業実証実験(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	自転車シェアリング事業実証実験(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	予算	77,164	当初予定数(定員等)	522,680回	76.0%	平成29年度 自転車500台・サイクルポート42箇所 会員登録数7,730人 利用回数173,576回  平成30年度 自転車800台・サイクルポート60箇所 会員登録数15,141人 利用回数345,211回	利用回数、会員登録数等が順調に伸びており、移動手段の転換などからも公共交通を補完する役割を果たしている。また、平成30年度に行った利用者意向調査においても、満足度は高く、「今後も利用したい」との回答が96%であった。	利便性の向上 サイクルポートの拡充 メンテナンスの強化 自転車の台数確保及び溢れ対策 事業の持続性の確保 収入の増加・支出の削減 広域連携における各区及び運営事業者との役割分担等の調整	拡充	本格実施移行に向け、サイクルポートの拡充等、更なる利便性の向上を図るとともに、広域連携区における調整を行う	管理課	交通安全係
						決算	62,074	実績数	345,211回								
								申込数	—								
11	観01-01	無料公衆無線LANの整備	国内外からの観光客や施設利用者へ文京区の観光情報を発信するとともに、災害時の情報提供や区民サービス向上につながる通信手段として、文京区内に無料公衆無線LANを整備する。	公衆無線LANの環境を整備する。	公衆無線LANの環境を整備する。	予算	15,714	当初予定数(定員等)	2か所	—	文京区男女平等センター及び文京スポーツセンターに無料公衆無線LANの整備を行った。	平成30年度においては、文京区内に整備した公衆無線LANの接続数が27万件を超え、多くの観光客や施設利用者へのサービス向上につながった。	公衆無線LAN導入当初に比べ、様々な機種が製品化されていることから、今後の機器更新の際には、運用コスト等を勘案していく必要がある。	拡充	引き続き、無料公衆無線LANの設置施設を拡充する。 ※令和2年度は1拠点追加予定。	情報政策課	
						決算	15,020	実績数	2か所								
								申込数	—								
<b>【基本的な方向性(3)】 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり</b>																	
12	47	観01-03	観光インフォメーション	観光に関する情報の収集及び提供等を行うことにより、区の観光振興を図り、地域の活性化に寄与する。	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行う。	予算	12,601	当初予定数(定員等)	—	—	文京区観光協会に管理・運営を委託し、午前9時30分から午後6時まで、ほぼ年中無休で開所し、来訪者対応を実施。 ・来所者数 21,468人 ・相談件数 8,804件	来訪者や電話の問い合わせに対して、最新の情報を迅速かつ適切に提供することができた。	相談件数の増加に対応するため、ホームページやSNS等を活用した情報発信を強化していく必要がある。	拡充	SNSを活用した魅力的な情報発信や観光案内所としての多言語対応を強化していく。	アカデミー推進課	観光担当
						決算	12,586	実績数	8,804件								
								申込数	—								
13	47	観光PRポスター作成	文京区の魅力を区内外へ広く周知する	観光PRポスターを作成し区内外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、観光客誘致及び区のイメージアップを図る。	観光PRポスターを作成し区内外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、観光客誘致及び区のイメージアップを図る。	予算	996	当初予定数(定員等)	—	—	観光PRポスターを作成し区内外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、区内への観光客誘致及び区のイメージアップを図った。  観光PRポスター作成部数 A2:100部 B1:200部	観光写真コンクール入賞作品を使用し、PRポスターを作成した。	文京区の魅力がより伝わるようなポスターを制作する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当	
						決算	835	実績数	100部								
								申込数	—								
14	観01-05	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	多言語観光アプリ「旅道(たびどう)」内において、文京区の観光施設等を紹介するページを作成し、AR(拡張現実)等の最新技術を用いて、国内外に本区の魅力を発信していく。	区内の観光スポット等で楽しむことができるAR(拡張現実)等を活用した多言語観光アプリケーションを制作し、区の魅力を発信する。	区内の観光スポット等で楽しむことができるAR(拡張現実)等を活用した多言語観光アプリケーションを制作し、区の魅力を発信する。	予算	5,895	当初予定数(定員等)	—	—	360度VR静止画・動画及び紹介記事を14か所追加したほか、アプリの機能を活用したスタンプラリーを実施した。 (アプリダウンロード数90,480件、年間コンテンツ再生回数8,346件)	後楽園一帯をドローンを使用し360度VR動画を撮影するなど、新たに14か所を追加し、平成30年10月よりコンテンツを公開した。	閲覧数の増加に向けて、スタンプラリーを行うなど、アプリを利用した取り組みを検討する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当	
						決算	5,894	実績数	8,346件								
								申込数	—								
15		インバウンド歓迎戦略2018～外国人まるごとおもてなしプラン～	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、急増する外国人観光客を文京区へ戦略的に迎え入れるため、区有施設等を拠点に、観光案内及び日本文化が体験できるイベント等を定期的に実施する。また、観光ガイドの育成や効果的な情報発信を展開することにより、外国人観光客の受け入れ環境を整備する。	文の京まちなか観光案内人：観光ガイド及び区内大学生等が、休日・まつり開催時などを中心に、翻訳タブレットを携帯し、多言語による案内を行う。日本文化体験三昧：外国人に人気の高い、着付けや茶道・書道、折り紙等の日本文化が体験できるイベントを行う。	文の京まちなか観光案内人：観光ガイド及び区内大学生等が、休日・まつり開催時などを中心に、翻訳タブレットを携帯し、多言語による案内を行う。日本文化体験三昧：外国人に人気の高い、着付けや茶道・書道、折り紙等の日本文化が体験できるイベントを行う。	予算	3,043	当初予定数(定員等)	—	—	文の京まちなか観光案内人実績 実施回数:41回 ボランティア参加者数:延べ223人 案内件数:853件  日本文化体験三昧実績 実施回数:8回(茶道、書道、折り紙、あめ細工) 参加者数:230人	根津・千駄木エリアを拠点に、街中での積極的な観光案内や日本文化が体験できるイベント等を実施した。	周知方法の検討が必要である。	拡充	内容の充実を図るとともに、事業の周知及びボランティアの育成を行っていく。	アカデミー推進課	観光担当
						決算	1,658	実績数	223人								
								申込数	—								

令和元年度 観光分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標2】情報の収集・活用による来訪の促進

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
<b>【基本的な方向性(1)】国内外における文京区の観光ニーズの把握</b>																	
1	54	観03-01	観光ガイド事業	区内の歴史的・文化的な観光資源等を観光ガイドが案内することにより、区の魅力を観光客等に広く伝える。	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行う。	予算	1,187	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)観光ガイド育成 ※隔年実施 登録人数:25人 (2)区内10コースの予約ガイド、「文の京ガイドツアー」、まつりでのガイド等 実施回数:141回 参加人数:1,627人 (3)観光ガイドレベルアップ研修	ガイドツアー参加者の満足度も高く、ツアー回数も年々増加しており、区の観光資源等の魅力を広く伝えることができた。	一定の技量を身につけた観光ガイドの人数を増やすとともに、新たなテーマのまちあるきコースの開拓等を行い、区の魅力の一層の掘り起しが必要である。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当
						決算	933	実績数	1,627人	—							
								申込数	—	—							
<b>【基本的な方向性(2)】文京区の地域ブランド向上</b>																	
2	50		歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、本区ゆかりの文人・樋口一葉が通った旧伊勢屋質店が末永く保存され、文化的に活用されることにも、文化遺産としての建物に関する知識の普及や本郷地区の観光拠点として広く情報を発信する。	樋口一葉ゆかりの文学史跡である旧伊勢屋質店において、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物公開(内部含)、概要展示、観光案内等の活用事業を行う。	予算	2,600	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1) 建物内部の公開 公開日数:63日 来場者:1,920人 (2) 観光資料の配布・問合せ対応 (3) 解説パネル、施設案内表示等の製作・展示 (4) 建物公開に関する印刷物の製作・配布	本区の貴重な文化資産である「旧伊勢屋質店」の建物公開を通じて、建物に関する知識の普及啓発を行うとともに、本郷エリアの情報発信に取組んだ。また、建物を所有する跡見女子学園と連携して事業を実施することにより、学生たちと地域社会との交流の場としても活用することができた。	より多くの方に当該建物を知っていただき、来場してもらうため、広報や公開日等を工夫する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当
						決算	2,600	実績数	1,920人	—							
								申込数	—	—							
3	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰することで、区の歴史・文化・伝統といった魅力を発信し、「文の京」という名にふさわしいイメージを持続させる。	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助する。	予算	200	当初予定数(定員等)	—	—	—	第39回 文京一葉忌:120人	一葉忌の実施にあたり、ポスター・パンフレットの配架を通じ周知活動を行った。	より多くの方に本イベントを知っていただき、来場してもらうため、広報を工夫する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当
						決算	0	実績数	120人	—							
								申込数	—	—							
4	55		文の京ゆかりの文人銘菓	文京区の代表的な文人たちにちなんだお菓子を創作し、文京区の土産品として販売することで、地域ブランドを向上させ、PRを行う。	平成24年度「森鷗外生誕150周年記念事業」として区内の菓子店に協力を仰ぎ、文京区ゆかりの文人たちにちなんだお菓子を創作し、文京区の土産品として販売する。	予算	14	当初予定数(定員等)	—	—	—	文人銘菓カタログ増刷:5,000部	文人銘菓カタログの刷新を行うとともに、年賀会等への出店補助を行った。	文人銘菓カタログをより多くの関係施設に配架するなどより積極的なPRを行う必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当
						決算	13	実績数	5,000部	—							
								申込数	—	—							
<b>【基本的な方向性(3)】効果的な双方向の観光情報発信</b>																	
5	60		フィルムコミッション事業	区内でロケーション撮影を行うことにより、メディアを活用した区の情報発信を行い、知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し、観光振興を図る。	映像製作者を積極的に誘致するとともに、円滑なロケーション撮影を行うための各種申請、調整等のサポートを行う。	予算	44	当初予定数(定員等)	—	—	—	撮影協力実績:9件	区有施設がメディアで取り上げられることにより、区の魅力を多方面に発信することができた。	より多くのメディアに対し、広く区内のロケーションを発信するとともに、スムーズなサポートを行い、申請時の負担軽減を図る必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当
						決算	14	実績数	9件	—							
								申込数	—	—							
<b>【基本的な方向性(4)】活気ある交流の仕組みづくり</b>																	
6	61	観04-01	花の五大まつり等助成	観光客の誘致と地域の活性化につながるよう、PR経費等の一部を助成する。	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図る。	予算	10,370	当初予定数(定員等)	—	—	—	さくらまつり:10万人 つつじまつり:55万人 あじさいまつり:10万人 菊まつり:30万人 梅まつり:45万人 朝顔・ほおずき市:5万人 下町まつり:10万人	朝顔・ほおずき市及び根津・千駄木下町まつりでは、広範な会場を周回するシャトルバスを運行するなど、来訪者の周遊を促し、地域の魅力発信に寄与する取組を行った。	イベント内容の充実等により、まつりの魅力を一層高める必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当
						決算	10,370	実績数	165万人	—							
								申込数	—	—							
7	58		国内交流事業	本区と全国の各地域において住民同士の交流や連携を促進する。	区と友好関係にある自治体との交流事業の拡充を図るほか、全国の自治体との事業協力を行う。	予算	956	当初予定数(定員等)	—	—	—	区内または対象地域内で、イベント、スポーツ、農業体験等を通じた住民同士の交流を行う団体に対し、経費の一部を補助する「文京区国内交流・連携事業補助金事業」を実施した。 補助件数:6件 補助金額:596,834円	スポーツや農業体験等を通じて、全国の地域で住民同士の交流を図る事業を実施した団体に対し、補助を行うことで、交流促進につながった。	スポーツ、文化関連団体への周知を強化するほか、区内団体と交流先団体の双方に相乗効果をもたらす計画を推進していく。また、広く区民が協定締結自治体への興味や理解が深まる事業を検討する。	拡充	アカデミー推進課	都市交流担当
						決算	723	実績数	—	—							
								申込数	—	—							
食を通じた交流の活性化を図り、住民間の交流の促進につながるため、本区と交流のある自治体で生産された食材を活用して料理を提供した区内飲食店に対し、一部補助を行う「国内交流自治体食材購入費補助金事業」を実施する。																	

令和元年度 観光分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標3】 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
【基本的な方向性(1)】 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築																	
1	62		観光協会振興助成	区内にある豊富な観光資源を活かした観光事業の推進により、観光客の誘致を図り、地域の活性化や産業振興を図る。	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図る。	予算	11,776	当初予定数(定員等)	—	—	まつり等観光PR、観光写真コンクール等の事業運営費及び事務局職員人件費等の補助を行った。	本区への観光客誘致及び観光振興に係る経費を助成することで、事業内容が充実した。	どのような事業に対して助成を行うか、効果を確認した上で対象事業と額を決める必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	観光担当	
						決算	10,894	実績数	—								
								申込数	—								
2	61	文01-03	広域連携事業	隣接区や共通の観光資源を有する自治体と相互に連携し、文京区というエリアにとられない広域的な観光振興を行う。	千代田区・台東区とともに「東京文化資源会議」に参画し、千代田区・台東区・文京区の有する文化資源についての情報収集並びに発信について取り組み、地図アーカイブ事業並びに地図カタログ事業を行った。	予算	500	当初予定数(定員等)	—	—	帝都物語をきっかけとしたトークセッションを2回、シンポジウムを1回行い、計約480名の方に参加をいただいた。	地域の持つ観光資源の魅力を区境に捉われことなく蓄積・発信することが出来ました。	地図のアーカイブ化やWEB上での掲載等を進めたが、広く区の内外で利用してもらえるように周知等を工夫していく必要がある。	終了	予算を伴う事業としては終了とする。近隣自治体との連携は重要であるため、東京文化資源会議等の会合には関りを継続していく。	アカデミー推進課	文化事業係
						決算	500	実績数	—								
								申込数	—								
【基本的な方向性(2)】 安心・安全で優しいまちを実現する環境づくりの推進																	
3	63		バリアフリーの推進	高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、道路、公共施設、スポーツ施設等のバリアフリーを進める。	文京区バリアフリー基本構想重点整備地区別計画に掲載した特定事業の進捗管理を行い、特定事業の実施にあたって事業経費の補助を行う。	予算	6,606	当初予定数(定員等)	5件	—	地区別計画に定める特定事業について、各施設それぞれ1回までハード事業(補助額は事業経費1/2、上限100万円)とソフト事業(補助額は事業経費の1/2、上限25万円)の事業経費を補助する。※令和2年度まで。	補助制度を開始した平成30年度以降、計3件の申請があり、交付を行った。	各事業者が補助制度をより活用しやすくなるため、さらに補助制度についての周知を改めていく。	現状維持	都市計画課	都市計画担当	
						決算	4,313	実績数	2件								40.0%
								申込数	—								—
4	56		区内統一案内標識整備	多種多様な案内標識を整理・集約し、案内サービスの向上や景観に配慮した標識にする。	ガイドライン「文京区案内標識等統一化計画」に基づき、標識内に設置場所付近の観光関連施設等の情報を掲載する。※設置は道路課主管で行う。	予算	38,868	当初予定数(定員等)	15基	—	統一案内標識設置工 15基 既存案内標識撤去工 26基	本区で設置している観光スポットの画像付きの観光案内標識は、観光まちあるきの促進に効果的である。本区を訪れた観光客に、本区の魅力や見どころとなる多種多様な観光スポットをより深く知ってもらうことが可能となり、観光客の本区での滞在時間や今後のリピーター客の増加が期待できる	標識が未整備地域があるため、順次整備することが求められる	現状維持	道路課	整備工事係	
						決算	36,288	実績数	15基								100.0%
								申込数	—								—
【基本的な方向性(3)】 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成																	
5		観03-02	外国人おもてなし隊育成事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等ができるよう、区民のおもてなし精神を養う。また、地域の外国人と日本人との交流を深める。	「外国人おもてなし語学ボランティア講座(東京都共催)」や「外国人日本語でおもてなしレベルアップ交流会」を実施する。	予算	112	当初予定数(定員等)	330人	—	(1)「外国人おもてなし語学ボランティア講座」の実施(東京都共催) ○内容:おもてなしや異文化コミュニケーションについて、映像やグループワークを通して学習する ○対象:文京区内在住・在勤・在学の方(15歳以上、中学生を除く)で、英語による簡単な日常会話ができる方(語学資格証明書類の提出は不要) ○講師:東京都から派遣される講師 ○定員:各回60人(応募者多数の場合抽選) ○場所:スカイホール ○参加費:無料 平成30年度実施回数5回 参加者合計241人 平成30年6月9日 参加者54人 平成30年7月14日 参加者57人 平成30年9月8日 参加者46人 平成30年12月8日 参加者40人 平成31年3月23日 参加者44人  (2)外国人日本語でおもてなしレベルアップ交流会 ○内容:地域の外国人と日本人との交流及び相互理解の推進のため、簡単な日本語表現を使って外国人と交流する。 ○対象:文京区内在住・在勤・在学の方(未就学児は不可) ○講師:ABK学館 日本語学校 教務主任 亀山稔史氏 ○参加費:無料 ○開催日:平成31年1月26日14:00~16:00 ○場所:ABK学館 日本語学校(本駒込2-1-13) ○参加者:日本人26人、留学生17人	「外国人おもてなし語学ボランティア講座」について、H29年度は申込者が多く、高倍率であったため、H30年度は5回講座を実施した。「外国人おもてなし語学ボランティア講座」及び「外国人日本語でおもてなしレベルアップ交流会」は、共に受講者の満足度も非常に高く、区民のおもてなし精神の育成、外国人住民との相互交流の促進につながった。	「外国人おもてなし語学ボランティア講座」に関しては、前年度に比べて申込者数が減少しており、申込方法等(メールフォームでの申込を受け付けるなど)改善していく必要がある。	現状維持	アカデミー推進課	都市交流担当	
						決算	69	実績数	284人								86.1%
								申込数	308人								93.3%